

## 法律科目試験 「刑事法系」 問題

I 次の事項について、400字以内で説明しなさい。

・同意傷害

II 次の事例における甲と乙の罪責を論じなさい（特別法違反の点は除く。）。

安月給にも拘らず遊び回っている甲（男、50歳）は、遊興のための資金が底を突いたため、一人暮らしの裕福な老女X（75歳）から現金を騙し取ろうと企てた。そこで、自分が「かけ子」として、親元を離れて遠隔地で勤務するXの息子Y（40歳）に扮してXに電話し、Xが騙されたら遊び仲間の誰かにYの架空の友人を名乗る「受け子」の役を依頼することにした。

数日後、X宅の電話番号を調べ上げた甲は、X宅に電話をかけると、Yに成り済ました上で、顧客から集金した300万円を競馬につき込んでしまい、一週間以内にその穴埋めをしなければ会社を辞めさせられるのみならず、告訴されるかも知れないとの、偽りの事実を告げた。驚いたXから、お前を助けるためなら何でもしてやると言われた甲は、すぐに300万円を用意して欲しいと頼んだ。動揺も手伝ってすっかり甲の芝居に騙されたXは、その額の現金を翌日中に手元に揃えておくと受け合った。そこで甲は、翌々日午前10時頃、友人のAに自分の代理でX宅に金を受け取りに行かせると言って、電話を切った。

しばらくして落ち着きを取り戻したXが、念のためにYに電話したところ、先の電話の主はYではなかったことが判明し、Xは騙されていたことを知った。すぐ警察に通報したXは、警察官から、騙されている振りをして続けて犯人の逮捕に協力するよう要請されてこれに応ずることにし、手筈を打ち合わせた。

翌日、甲は、このようなX側の動きを知らないまま、Aの役を頼むために、遊び仲間の一人である乙（男、40歳）に連絡を取った。そして、事情を説明した上で、もし乙がYの友人に扮してXから300万円を受け取り、それを甲の指定する場所に持参したら、50万円の報酬をやると持ち掛けると、金に困っていた乙は二つ返事で引き受けた。乙は、その次の日の午前10時にX宅を訪れ、インターフォン越しにAの名を名乗ったところ、張り込んでいた警察官が現れ、乙を逮捕した。